



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ

コード番号 5726

URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西澤 庄藏

問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)古木 光次

(TEL) (06)6413-3310

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日~平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	23,373	△5.0	△1,790	-	△2,546	-	△2,597	-
22年3月期第3四半期	24,611	△39.6	2,110	△84.1	1,219	△90.4	665	△91.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△70 59	-
22年3月期第3四半期	18 09	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	111,416	42,593	38.2	1,157 47
22年3月期	94,281	45,487	48.2	1,236 11

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 42,593百万円 22年3月期 45,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	-	7 50	-	7 50	15 00
23年3月期	-	0 00	-	-	-
23年3月期(予想)	-	-	-	10 00	10 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,800	5.9	△5,700	-	△6,500	-	△5,100	-	△138 59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	36,800,000株	22年3月期	36,800,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期3Q	1,194株	22年3月期	1,127株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期3Q	36,798,853株	22年3月期3Q	36,798,888株
----------	-------------	----------	-------------

(注意事項)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国の需要伸長や政策効果により企業収益の一部に改善傾向が見られるものの、円高・デフレ基調のもと設備投資や雇用・所得環境の低迷が継続する等依然厳しい状況で推移しました。

当社事業につきましては、チタン事業では、輸出・国内向けともに在庫調整が進展したことに加え、輸出・航空機用では航空機の生産好調を受けてエンジン分野を中心に需要が回復、国内・一般産業用でも海外プラント向け需要が回復に転じたことにより、販売数量が増加、価格下落・円高影響を補い売上高は増加しました。また鉄鋼添加用スポンジチタンでは、スクラップ市況の高騰を背景に販売価格が上昇したことにより売上高は増加しました。この結果、チタン事業の売上高は、18,638百万円(前年同期比23.1%増)となりました。

ポリシリコン事業では、高圧ガス保安法対応のための設備改造が8月に完了し操業を再開しましたが、その後も同法の制約により年産900トンレベルの生産量となったため、販売数量が大幅に減少しました。この結果、ポリシリコン事業の売上高は2,539百万円(前年同期比69.3%減)となりました。

高機能材料事業では、半導体及び液晶分野での需要増加を背景に、高純度チタン、タイロップを中心に販売数量が大きく増加したため、売上高は2,196百万円(前年同期比81.6%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高が23,373百万円(前年同期比5.0%減)、利益につきましては、営業損失1,790百万円、経常損失2,546百万円、四半期純損失2,597百万円となりました。なお、特別損失としてポリシリコン操業停止損失1,119百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う過年度の影響額264百万円、及びポリシリコン改造工事に伴う設備廃却を主体に固定資産除却損464百万円を計上しております。

(参考)

(単位：百万円)

		当第3四半期	前年同期	増減率(%)
チタン事業	国内	10,329	8,659	19.3
	輸出	8,308	6,482	28.2
	計	18,638	15,141	23.1
ポリシリコン事業		2,539	8,260	△69.3
高機能材料事業		2,196	1,209	81.6
合計		23,373	24,611	△5.0

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第3四半期末の総資産の残高は、111,416百万円と前事業年度末と比べ17,135百万円増加いたしました。これは主に、ポリシリコン増強投資にかかる有形固定資産の増加によるものであります。

② 負債

当第3四半期末の負債の残高は、68,822百万円と前事業年度末と比べ20,029百万円増加いたしました。これは主に、ポリシリコン増強投資に伴う長期借入金並びに設備債務の増加によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期末の純資産の残高は、42,593百万円と前事業年度末と比べ2,893百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年10月28日に公表いたしました平成23年3月期通期業績予想を以下のとおり修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,800	△6,400	△7,300	△5,600	△152.18
今回修正予想(B)	33,800	△5,700	△6,500	△5,100	△138.59
増減額(B-A)	1,000	700	800	500	—
増減率(%)	3.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	31,908	1,563	435	124	3.38

(修正の理由)

売上高の増加につきましては、チタン及びポリシリコンの販売増が主な内容であります。チタンは平成22年度に入ってから急速な需要回復に対応するため能力増強投資(2ndステップ)を進めておりますが、その順調な立上げに伴い当初計画以上の増産・増販を見込んでおります。ポリシリコンにつきましても、需要堅調の中、平成23年2月に予定しておりました岸和田工場の稼働を1月に前倒しすることにより増産・増販を見込んでおります。

営業利益及び経常利益につきましては、岸和田工場早期稼働に伴う減価償却費の増加はありますが、チタン及びポリシリコンの増産・増販効果を主体に増益を見込んでおります。

なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高

前事業年度末に算定した貸倒実績率と著しい変動がないと認められるため、当第3四半期末において、前事業年度の財務諸表作成で使用した貸倒実績率を用いて算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

第2四半期末の実地棚卸高を基礎として継続記録法により棚卸高の算定をしている棚卸資産については、当第3四半期末の実地棚卸を省略しております。

③ 税金費用

年間の税引前利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額につきましては法人税等を含めて表示しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準等の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業損失、経常損失はそれぞれ34百万円増加し、税引前四半期純損失は、298百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,120百万円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,895	2,620
受取手形及び売掛金	12,237	10,407
有価証券	—	99
商品及び製品	5,187	7,674
仕掛品	2,200	1,634
原材料及び貯蔵品	3,282	3,686
その他	1,213	982
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	27,015	27,102
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,184	13,265
機械及び装置(純額)	22,878	21,760
土地	16,279	16,279
建設仮勘定	25,231	12,629
その他(純額)	1,187	1,289
有形固定資産合計	80,760	65,223
無形固定資産	228	269
投資その他の資産	3,411	1,685
固定資産合計	84,400	67,178
資産合計	111,416	94,281

(単位:百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,900	2,294
短期借入金	4,400	8,900
リース債務	1,058	1,036
未払法人税等	9	20
賞与引当金	84	362
設備関係支払手形	2,985	785
設備関係未払金	10,003	5,572
その他	912	820
流動負債合計	23,355	19,793
固定負債		
長期借入金	39,950	23,950
リース債務	2,780	3,577
退職給付引当金	1,139	1,063
資産除去債務	1,138	—
その他	457	409
固定負債合計	45,466	29,000
負債合計	68,822	48,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	25,074	27,947
自己株式	△9	△9
株主資本合計	42,746	45,620
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	112	94
繰延ヘッジ損益	△265	△227
評価・換算差額等合計	△153	△133
純資産合計	42,593	45,487
負債純資産合計	111,416	94,281

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	24,611	23,373
売上原価	19,086	21,908
売上総利益	5,525	1,465
販売費及び一般管理費	3,414	3,256
営業利益又は営業損失(△)	2,110	△1,790
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	5
為替差益	98	—
不用品売却益	27	81
受取賃貸料	21	27
補助金収入	94	94
その他	17	51
営業外収益合計	262	259
営業外費用		
支払利息	406	393
為替差損	—	473
売上債権売却損	2	—
休止固定資産減価償却費	664	138
その他	79	9
営業外費用合計	1,153	1,015
経常利益又は経常損失(△)	1,219	△2,546
特別損失		
固定資産除却損	32	464
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	264
操業停止損失	—	1,119
ゴルフ会員権評価損	0	1
特別損失合計	33	1,848
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,186	△4,395
法人税、住民税及び事業税	520	△1,797
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	520	△1,797
四半期純利益又は四半期純損失(△)	665	△2,597

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。